



# 光明の学び

東京都立光明学園

校長 田村 康二郎

東京都世田谷区松原6-38-27

電話 03-3323-8421

## 高等部卒業生に贈る言葉

### 「光明学園卒業生であることを誇りに」

今、卒業証書を手にした皆さん、遡れば2年前の春、本学園開校式に臨んだ栄えある開校一期生の皆さん。卒業を心から祝福いたします。卒業生の皆さんに、校長から特別授業「光明学」を贈ります。

1時間目は国語です。「光明」の「光」の成立ちについて理解しましょう。コウと読む字は、人が火の籠を頭上に掲げて、周りを照らす形から来ています。メイと読む字は、左の日は窓、月の光が窓の中に射し込んで明るい様を表しているということが最新の解釈です。コウミョウではなくコウメイと読むのは、母体校開校時の永田東京市長が児童の将来の幸福を期して命名したからだそうです。

2時間目は歴史の時間です。日本特別支援学校史を振り返ります。光明学園は日本で最初にできた体の不自由な子供のための公立校「東京市立光明学校」と、東京府が日本で初めての道府県立校として作った健康学園「久留米養護学園」が発展的に合わさってできた新タイプの学園です。

前身の光明学校では、昭和7年に麻布で開校し、初代の結城捨次郎校長先生は、そよ風分教室の近くにある成城学園小学校創立期の先生のお一人で、その後「麹町小学校病弱学級」で指導実践を重ねた後、校長として着任されました。ですので、成城学園の教育と病弱教育のメソッドが取り入れられ、現在の自立活動やキャリア教育の基礎となりました。その後も日本で最初の中学が昭和21年、高等部が昭和33年に設けられ、全国に広がるきっかけとなりました。また、昭和26年、日本初のプール設置や昭和34年には都内初のスクールバスも本校から始まりました。そして今も医療的ケアのある学園生の教育充実の指定

校です。このように先頭を駆けるパイオニア校であることは今も変わりありません。

もう一つの前身である久留米特別支援学校は、特に昭和の時期に数多くの児童が学び、健康を回復して元の学校に復学した記録が引き継がれています。そして多くの卒業生が全国で活躍しています。そして旧久留米特別支援学校で学んだ最後の生徒が、本学園高等部に入学し、病弱部門で今回卒業を迎え、先ほど卒業証書授与に臨んだのです。歴史の節目に飛び立つ二人は、久留米特別支援学校と光明学園二校で学んだ誇りを胸に堂々と進み出てください。この先、光明学園の事を思い出したら、後輩を励ましに立ち寄って、後輩たちを激励してください。大歓迎です。

3時間目は特設「道徳」の授業です。2020を節目として多様な人々が共に助け合い理解し合って豊かな社会を作っていく時代の流れが一層進みます。2部門の学友が一つ校舎で過ごした卒業生の皆さん、開校式、始業式・終業式、光明祭を互いを尊重して作り上げてきました、そして両部門の通学生、在宅訪問生、入院生も全員でエントリーした初の光明展・光書展を皆さんが盛り上げてくれました。百年続く本校の伝統としていきます。相手を尊重することは自分を大切にすることにも繋がります。学園・寄宿舎生活で学んだ事を駆使して、人生の本舞台に登壇してください。

授業のまとめです。皆さんは、多くの人々の愛で大切に生まれ、体力を養い健康を維持しながら、門出の節目を迎えているのです。一人一人は誰にも変わることのできない尊い存在です。この学園で知り合った同じ志の同級生と学び合えたこと、多くの人々との絆を得たこと、そして**光明学園卒業生であることを一生の誇りとしてください。**以上で「光明学」の授業を終わります。

光明学園校長 田村 康二郎

## S・B両部門 卒業生を送る会

### (S部門小学部)

3月1日(金)に「6年生を送る会」が行われました。今まで練習を重ねてきた卒業の言葉と「たいせつなことからもの」を披露しました。緊張もありましたが、それぞれが力を発揮した演奏でした。5年生の送る言葉やリコーダー演奏、そして花道を退場する時には在校生から沢山の祝福の言葉をもらい児童たちは、とても嬉しそうでした。



### (S・B両部門中学部)

3月6日(水)にS・B両部門中学部合同で「3年生を送る会」が開催されました。中学部では、年3回の交流会や、給食交流、授業交流が行われており、両部門の生徒が揃ってS部門18名の卒業生をお祝いしました。

S部門1・2年生からは、パフォーマンスや楽器にありがとうの想いをこめて、メッセージ、歌を贈りました。B部門からはメッセージと三部合唱曲「はばたこう明日へ」を贈りました。先輩方のこれからの活躍に思いを馳せながら選曲し、1か月以上練習を重ねた歌を披露しました。

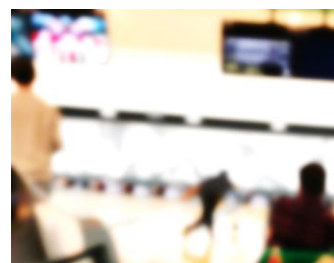
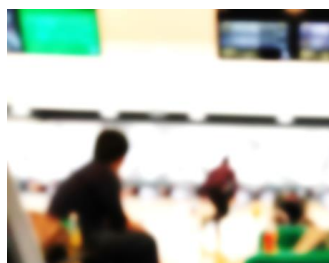
3年生からは、歌やスライドで卒業への気持ちを伝えてもらいました。

アンコールが繰り返されたり、3年生が笑顔で誇らしげに退場していく姿が感動的な、心温まる会となりました。



### (B部門高等部)

3月14日(木)に「卒業遠足」に行きました。活発なB部門高等部の3年生は、ラウンドワン朝霞店に行き、「ボウリング3ゲーム」と「スポッチャ3時間」を楽しみました。ボウリングでは、なかなかストライクやスパアが取れず、ボールの持ち方や投げ方などを工夫して、粘り強く取り組む姿が印象的でした。スポッチャでは野球のバッティングをしたり、セグウェイに乗ったり、普段はできない活動で体を健康的にたくさん動かしました。仲間とともに過ごした時間を卒業後も大切にしていってほしいです。



### (S部門高等部)

3月11日(月)に「卒業生を送る会」が開かれました。1年間または2年間共に学んだ卒業生と楽しむ最後の行事でした。

在校生からは様々工夫した出し物が用意されました。一方、学園を去っていく卒業生は、一人一人が一文字ずつ文字を書き、「ありがとう。大好き」のプラカードを完成させました。



(S部門高等部主幹教諭 長 雅洋)



## S・B両部門 寄宿舍（まとめの会）（3月11日・月）

3月11日（月）に、寄宿舍「まとめの会」を行いました。内容は3チーム対抗によるゲーム大会、出し物発表です。5名の実行委員が中心となって、当日の進行だけでなく、ゲームのルールを考えたり、案内状を作成したり、まとめの会の準備に頑張っており取り組んできました。

前半のゲーム大会では、実行委員が企画した「クイズリレー」と「ステレオゲーム」を行いました。クイズリレーでは少しでも早く問題を答えようと、短い距離を慌てて移動したり、焦って回答して間違えたりするたびに、会場が盛り上がっていました。ステレオゲームでは複数の言葉や音楽を同時に流して、何が流れていたかをチームごとに考えました。クイズリレーとは打って変わって、静まり返った雰囲気の中必死に耳を傾けている姿が印象的でした。聞こえすぎで体まで傾いている生徒がいたり、流れていない言葉や音楽を回答したりすると、静かな雰囲気が一転笑いに包まれる楽しいゲームとなりました。

出し物発表では、トップバッターとして男子グループの3人が登場してジャグリングで会場を盛り上げてくれました。他にも当日の夕食で使用したコースター制作の slides が上映されたり、一年間の生活のまとめを堂々と発表したりする生徒がいました。出し物の最後は、S部門生徒4名で「USA」の曲に合わせて、それぞれが一年間のまとめを発表し、くす玉を割って3年生の卒業をお祝いしました。賑やかな雰囲気では皆の笑顔が見られる出し物となりました。

出し物の練習を頑張った生徒、ゲームを企画してくれた実行委員、みんなで作り上げた会となりました。当日は生徒のご家族や学級担任の先生など大勢の参加もあり、楽しいひと時を過ごすことができました。ご協力ありがとうございました。

